

学校教育目標 ○自ら学び、考える子 ○心豊かで、思いやりのある子 ○たくましく生きる元気な子



え ど が わ
EDOGAWA

春日部市立江戸川小中学校
学校だより8・9月号

令和7年8月29日
児童生徒数 196名

江戸川小中学校ホームページ <https://schit.net/kasukabe/edogawa/>

ハイファイブ (high five)

校長 鈴木 美江

蝉の鳴き声も小さくなり、夏もいよいよ終わりを告げようとしています。学校では、子供たちの歓声が戻り、活気がみなぎってきました。

活気と言えば、今年の夏の甲子園も大いに沸きました。接戦に次ぐ接戦で、沖縄尚学が15年ぶりに沖縄に優勝旗をもたらしました。どのチームも並々ならぬ努力をしてきたことでしょう。ひたむきに頑張る姿から、多くの感動をもらいました。学校でも、子供たちが一生懸命にできるようになろうとか、うまくなろうと頑張る姿が、一番の感動です。

そんな甲子園中継を観ていると、こんな場面を多く見ました。(右：写真)手と手をパチンと合わせる「ハイタッチ」です。テレビでサッカーや野球を観ていると、点が入ったときや素晴らしいプレー(ファインプレー)をしたときに、チームメイトが集まってきてハイタッチすることがあります。

私は、ハイタッチという言葉は、「英語だ。」とずっと思っていました。英語を組み合わせて作った日本語だそうです。正式には、「ハイファイブ」と言うようです。「ハイ



(high)」は高い。ファイブは、数字の「5 (five)」を意味し、そこから「5本の指」・・・「手のひら」つまり、高い位置で「よくやったね」「頑張ったね」の挨拶の代わりに手のひらと手のひらを合わせるという具合になったようです。

実は、漢字にもこの「ハイファイブ」のような漢字があるのを見つけました。何という漢字か分かりますか？

ヒント1



ヒント2

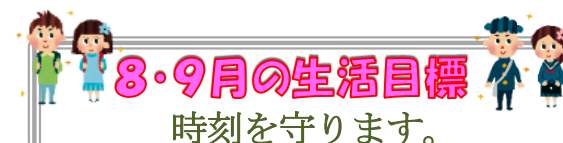


ヒント1 右手が2つ重なっています。

ヒント2 2つの手が、変化してこのようになりました。

小学2年生で習う漢字「友」という字です。「友」という漢字には、もともと〈手と手を取り合って助ける〉という意味があるのです。

いよいよ今日から2学期のスタートです。年輪が夏に幅を広げるように、ひと夏で心も体もぐんと逞しくなった子供たちと共に、実り多い学期にしていきたいと思います。2学期は、江戸川フェスティバルや、音楽会、校外学習など大きな行事がたくさんあります。みんなで手と手を取り合い、助け合い、協力して創り上げていく学習の中で、人間力が培われるよう今学期も家庭・地域の皆様と力を合わせて江戸川小中学校は進んでまいります。子供たちへの熱い励ましとご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



コミュニティスクール事業

学校運営協議委員の皆様と本校職員が一同に会し、2学期以降および令和8年度にむけて、地域との協働的な教育活動について話し合いました。持続可能かつ、子どもたちにとってより効果的な活動となることを話し合いの柱とし、活発な協議が行われました。



第3回 学校運営協議会

コミュニティスクール事業

親子除草

後援会主催による、親子除草が行われました。夏休みにも関わらず、地域の方々や児童・生徒・保護者も多数参加してくださりました。後援会の皆様が芝刈り機をたくさん持参してくださり、短時間で作業がとてはかどりました。ご協力に感謝いたします。気持ちよく2学期が迎えられます。ありがとうございました。



コミュニティスクール事業

通学路等子どもの安全を守る会

PTAの皆様、各区長様、後援会長様、宝珠花駐在所巡査様、青少年育成推進委員様とともに通学路に関する課題について情報共有しました。危険箇所については関係機関とも連携し、2学期以降の通学路の安全に努めてまいります。今後も通学路の安全確保、情報提供等様々な場面でお世話になります。



ひまわり賞 受賞式

よい行い(善行)をして認められた児童・生徒を対象に、およそ2カ月に1度ひまわり賞の表彰を行っています。受賞者が増えれば増えるほど江戸川小がよい学校になっている証です。地域での善行がありましたら学校にご連絡ください。(連絡先：教頭まで)



開校記念日

9月29日(月)は江戸川小中学校の開校記念日です。令和元年度以来、県下初の義務教育学校として今年で7年目を迎えます。私たちの学校に感謝し、みんなで力を合わせて更によりよい学校にしていきたいと思います。

